

ボランティアの集い(ボランティア研修会)を開催

本町のボランティアを担う人材の育成と、町民ボランティア活動の活性化を目的に「ボランティアの集い」を開催します。

今年は、昨年の台風被害時における災害ボランティアの受け入れや実際の活動などについて、当事者である十勝管内清水町社会福祉協議会のボランティア担当者からお話を伺います。また、本町での防災訓練などについて、防災対策専門官からお話を伺います。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

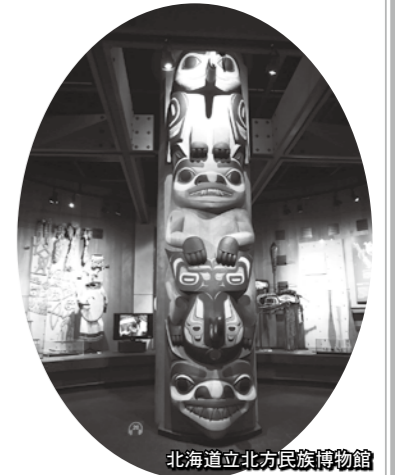
- ▶主催/弟子屈町ボランティア連絡協議会
- ▶共催/弟子屈町社会福祉協議会(ボランティアセンター)
- ▶日時/3月16日(木) 10時~14時30分
- ▶場所/社会老人福祉センター
- ▶内容
 - 研修1「災害ボランティア活動について」(10時~11時) 清水町社会福祉協議会 ボランティア担当者
 - 研修2「わが町の防災について」(11時~正午) 役場総務課 防災対策専門官 中村 英雄 氏
 - 昼食・情報交換(正午~13時)
 - 研修3 収集物の整理(13時~14時30分)
- ▶参加費/講演のみの参加は無料
昼食をとる方は100円(豚汁と非常食を用意します)
- ▶申し込み/3月13日(月)までに電話かファクスで申し込みください。
- 申し込み・問い合わせ先/弟子屈町ボランティア連絡協議会事務局
 - 弟子屈町社会福祉協議会 ☎482-1054 FAX482-1236
 - 弟子屈町ボランティアセンター ☎・FAX482-2858

くっしゃろ講座 特別編「バスに乗って行く町外施設見学研修会」 弟子屈町民限定

北方民族たちが教えてくれること

弟子屈町を飛び出して、網走市にある2つの施設を見学します。各施設では解説を聞きながら館内を回ります。

- ▶主催/チームくっしゃろ(屈斜路湖周辺の歴史・文化の収集・発信を行う地域活動団体です)
- ▶後援/町教育委員会・川湯エコミュージアムセンター
- ▶期日/3月15日(水)
- ▶日程
 - 9時~9時30分/町内出発(詳細は申し込みされた方に後日お知らせします)
 - 午前/濤沸湖 水鳥・湿地センター
常設展示にアイヌ文化解説が多くみられます。当日は網走アイヌについてのお話もしていただく予定です。
 - 昼食/道の駅「流水街道網走」(各自負担)
 - 午後/北海道立北方民族博物館(入館料各自負担)
グリーンランドから北欧まで、アイヌを含めた北方民族の文化とオホーツク文化を紹介する、わが国唯一の博物館です。
 - 16時~16時30分/町内到着(予定)
- ▶定員/20人(先着順) ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ▶参加料/1人500円(保険料など) ※昼食代と北海道立北方民族博物館入館料は別途ご負担ください。
- ▶申し込み方法/事前予約が必要です。3月8日(水)までに、電話かFacebookのメッセージで申し込みください。
- 申し込み・問い合わせ先/☎090-6876-5393(チームくっしゃろ・斎藤)



北海道立北方民族博物館

<https://www.facebook.com/team.kussharo>

※当日の様子はFacebookなどに掲載されることがあります。

♪ 弟子屈中学校吹奏楽部 ♪

フェアウェルコンサート

3月20日(月) 春分の日 14時
弟子屈中学校体育館 入場無料

【賛助出演】 弟子屈高校吹奏楽部 【曲目】 ハナミズキ、キセキ、ジブリメドレー ほか



フェアウェルコンサートにいらっやしませんか。このコンサートは、3年生の卒部をお祝いする「送別の演奏会」。内容は春を感じさせる曲やアンサンブルの発表など、世代を問わず楽しめるプログラムとなっています。また、賛助出演として弟子屈高校吹奏楽部の皆さんをお迎えします。皆様のご来場をお待ちしています。

問い合わせ先/弟子屈中学校 ☎482-2071

アイヌの自然

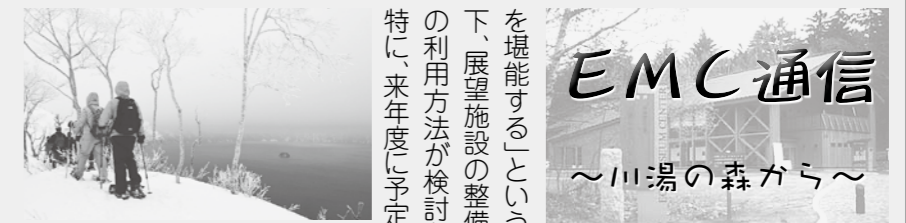
アイヌの人たちも、積雪期にはかんじきを利用していました。厳冬期の軟らかい雪の上を歩くときには、クワやコクワツルで作った大きな楕円形の「テシマ」を、表面が凍って滑りやすくなった春先には、ひょうたん形の「チンル」というように、2種類を使い分けていました。

冬は狩猟の季節。鹿皮で作った靴に装着するかんじきは、長時間にわたって野山を駆け回るために欠かすことのできない、大事な道具の一つだったのでした。

【参考文献】
アイヌ暮らしの民具/萱野茂 著



軟雪用かんじき「テシマ」



EMC通信

~川湯の森から~

国立公園 満喫プロジェクトでは、エクトでは、阿寒国立公園の特色を踏まえ「火山と森と湖が織りなす原生的な自然を堪能する」というコンセプトの下、展望施設の整備やフィールドの利用方法が検討されています。特に、来年度に予定されている「阿寒摩周国立公園」への名称変更によって注目度が増す摩周湖では、展望台の再整備やツアープログラムの開

アクティビティを通じて原生的な自然を楽しみましょう

発が進められています。現在、摩周湖ではトレッキングや雲海・星空観察ツアーなどが行われていて、訪日外国人旅行者からも人気を集めています。ですが、近くに住んでいるからといって「実は体験したことがない」という方も多くはいます。川湯地域を訪れる旅行者の皆さんにその素晴らしさを伝えるには、自分たちが体験してみることが一番です。この積雪時にすぐ体験できるアクティビティは、西洋かんじきともいわれるスノーシューです。摩周湖周辺では冬季通行止めとなっている摩周湖第1〜第3展望台間を自由に歩くことができ、夏とは違う角度から摩周湖や屈斜路カルデラを望むことができます。まずは私たち地元民が、わが町の自然を堪能してみませんか。

川湯エコミュージアムセンター(EMC) ☎483-4100
URL http://www6.marimo.or.jp/k_emc/ 3月は9:00~16:00開館(水曜日休館)